

将来像5：官民共創のデザイン～境界を意識しない環境づくり～

官民を意識せず、受発注の関係性に囚われず、共有された使命・将来像に基づいた「官民共創」の取り組みが自然と生まれ、問題解決に止まらず、価値創造や共生社会の共創が実践されているエコシステムを目指します。

さて、官民共創とは、行政（官）と役場外の個人・企業・団体等（民）が、双方の使命・将来像を共有して、Win-Winの成果（Outcome）を目指して、戦略・戦術レベルでプロジェクト・サービス・製品等を共創する取り組みです。これは、使命・将来像の共有を必ずしも必要とせず、予測可能な結果（Output）を重視する官民連携をより柔軟かつ成果志向に発展させた考え方です。

磐梯町が官民共創を推進する理由は、行政実務の不確実性と多様化です。

まず、不確実性についてですが、役場の扱う事象の多くが前例のないものになる中で、従来の結果の予測可能性を前提とした取り組みのみでは限界があるため、民間の方々と使命・将来像という最上位の概念を共有した上で、戦略・戦術については柔軟な対応をすることが必要なためです。

次に、多様化についてですが、役場の扱う事象が多様化する中で、役場内部における既存の資源のみでは、成果をあげていくことが極めて困難になっているため、例えば役場外の人材、サービス・製品、資金等を活用することで成果につなげていくことができるためです。

デジタル変革戦略室の取り組みは、この官民共創の最たる例で、デジタルネイティブ組織として発足し、役場外の人材や企業を多く取り込みながら、業務を推進してきました。その結果、磐梯町役場固有の資源のみで取り組んでいたら、実現することができなかった成果が現れ始めています。

デジタル変革と官民共創は非常に相性が良く、今後は、この取り組みを、全庁に拡大していきます。

なお、「官民」を「官民」とあえて表現しているのは、成果志向で考えるのであれば、「共創」というプロセスにこそ意義があり、各プレイヤーがいかなる属性を持っているかという点について明示することに意義はほとんど存在しないためです。一方で、その意識に追いついていない人々にご理解頂くこと術として「官民」の表記を残しています。

※ Win-Win：取引をする双方どちらにも利益がある形態

5. 将来像5：共創のデザイン ～境界を意識しない環境づくり～

①戦略 13：複業人材との共創

複業人材が官民共創的に磐梯町の業務に関わる環境を推進します。特に、磐梯町に不足している、クリエイティブな能力を持つ人材やデジタルノマド、アドレスホッパー等の新しいライフスタイルを実践する人々にとって、か関わりやすい環境と仕組みを整えていきます。

具体的な戦術

- ・複業人材の関与の環境・仕組みを整備します。
- ・各課における複業人材の活用を推進します。

②戦略 14：町内外の 個人・企業・団体との共創

町内外の個人・企業・団体との共創を促進します。その際に、個人・企業・団体と町のミッション、ビジョンをすり合わせて、その取り組みが Win-Win になるように、慎重かつ迅速に、共創します。

具体的な戦術

- ・官民共創にかかるガイドラインを策定します。
- ・ばんだい宝ラボを促進します。

③戦略 15：各課の取り組みの促進

各課におけるデジタル変革に関する取り組みを促進します。その際に、複業人材や町内外の企業・団体との共創も慎重かつ積極的に行っていきます。

次ページへ



●総務課

組織とサービスのあり方を再デザインし、デジタル技術の導入により、職員が働きやすい環境と町民サービスの向上を目指します。また、ふるさと納税の推進を図ります。

●政策課

関係・交流人口の創出を目指し、デジタル技術を活用した施策を展開します。また、空き家利活用の推進を図ります。

●町民課

住民の行政手続きデジタル化の基礎となる「マイナンバーカード」の取得を推進します。また、高齢者の見守りにデジタル機器導入の可能性を探ります。

●農林課

農業におけるデジタル技術の活用性を検討し、持続可能な農業経営の可能性を探ります。

具体的な戦術

- ・職員の働き方を根本的に見直します。
- ・人事労務システムを導入します。
- ・印鑑の廃止を進めます。
- ・会議・通知等のペーパーレス化を推進します。
- ・役場の会議は原則オンラインを目指します。
- ・BCP（業務継続計画）を策定します。
- ・防災情報伝達システムのICT化を推進します。
- ・消防団連絡システムを構築します。
- ・ふるさと納税ECサイトを導入します。

具体的な戦術

- ・テレワーク推進企業を誘致します。
- ・空き家情報データベースを作成し、空き家マップを公開します。
- ・AI活用による水道メーターを通じた空き家化推測の実証事業を行います。
- ・カーシェアリングの実証事業を推進します。

具体的な戦術

- ・住民のマイナンバーカード取得率100%を目指します。
- ・AIスピーカーを使った高齢者見守り実証事業を行います。

具体的な戦術

- ・鳥獣被害対策ICT化の実証事業を行います。
- ・ICT技術を活用したスマート農業の検討を進めます。

●商工観光課

町内商工業振興のため、地域デジタル通貨の実証事業を継続し、その活用拡大の可能性を探ります。

●建設課

インフラ施設の維持管理にデジタル技術を活用し、効率化・省力化が図れるか検討を進めます。

●会計室

収納キャッシュレス化による納入者の利便性向上と、紙の伝票廃止による出納業務の効率化の検討を進めます。

●教育課

デジタル技術を活用した教育推進について協力します。また、公共施設を利用される方（ユーザー）が利用しやすい予約システムの構築を目指すことに協力します。

具体的な戦術

- ・地域デジタル通貨の実証事業を行います。

具体的な戦術

- ・除雪作業の ICT 化の検討を進めます。
- ・水道開栓・閉栓手続きの ICT 化の検討を進めます。

具体的な戦術

- ・税、各種公共料金等収納のキャッシュレス化を推進します。
- ・電子決済の導入による出納業務の効率化を推進します。

具体的な戦術

- ・GIGA スクール推進体制拡充について協力します。
- ・公共施設予約システムのオンライン化推進について協力します。

●こども課

デジタル技術を活用し、保育業務の効率化と、保育サービスの向上に協力します。

●文化課

展示や入館管理のデジタル化を推進し、来館者増に協力します。

●行政委員会及び各種審議会や 附属機関等

各種会議のペーパーレス化、オンライン開催を推進します。

具体的な戦術

・保育所等の業務の ICT 化促進について協力します。

具体的な戦術

・磐梯山慧日寺資料館業務の ICT 化促進に協力します。
・磐梯山慧日寺資料館展示のデジタル化促進に協力します。
・史跡調査データのデジタル化検討に協力します。

具体的な戦術

・行政委員会、各種審議会及び附属機関等の会議をペーパーレス並びにオンラインで開催することに協力します。